

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公表番号】特表2020-504080(P2020-504080A)

【公表日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-005

【出願番号】特願2019-524203(P2019-524203)

【国際特許分類】

C 0 7 K	7/54	(2006.01)
A 6 1 K	38/12	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/18	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/10	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/14	(2006.01)
A 6 1 P	31/20	(2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K	7/54	Z N A
A 6 1 K	38/12	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	31/18	

A 6 1 P 21/00
 A 6 1 P 19/10
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 25/04
 A 6 1 P 3/04
 A 6 1 P 25/24
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/14
 A 6 1 P 31/20

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月4日(2020.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

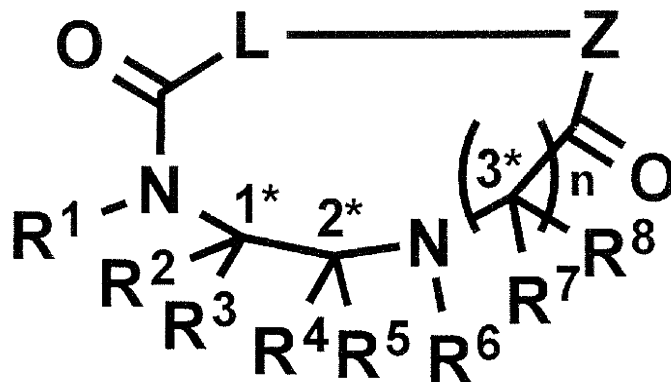
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジフェン酸残基にアミド結合によって共に共有結合される2つの化合物を含むホモ二量体であって、前記化合物が独立して式(I)：

【化1】

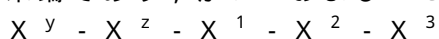


(I)

[式中、

R¹は、Hであり；R²は、Hであり；R³は、CH₃であり；R⁴は、Hであり；R⁵は、式 - C(O)NR^{**}R^{**}のアミド(式中、R^{**}は、Hであり、R^{**}*は、tert-ブチルである)であり；R⁶は、R⁷と共にProのピロリジン環を形成し；R⁸は、Hであり；nは、1であり；

Zは、アミノ酸のアミノ末端であり；Lに隣接する - C = O - は、アミノ酸のカルボキシ末端であり；かつZおよび - C = O - と共にLは、以下の式：



を有するペプチドであり、

式中、 X^y は、3 - アミノメチル - 4 - [4 - (1 - ピペラジニル) - フェニル] - 安息香酸であり；

X^2 は、なく；

X^1 は、ロイシンであり；

X^2 は、Aspであり；および

X^3 は、Thrである]

である、ホモ二量体。

【請求項 2】

薬学的に許容される担体と共に請求項 1 に記載のホモ二量体を含む医薬組成物。

【請求項 3】

経口送達、局所送達または非経口送達のために調製される、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

患者において炎症または自己免疫疾患の処置に使用するための、請求項 1 に記載のホモ二量体。

【請求項 5】

前記炎症または自己免疫疾患が胃腸管系である、請求項 4 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 6】

炎症性腸疾患 (I B D) ; 潰瘍性大腸炎 ; クロウン病 ; セリアック疾患 ; 血清反応陰性関節症、顕微鏡的大腸炎、膠原線維性大腸炎、好酸球性胃腸炎、放射線療法、化学療法に関連する腸疾患 ; 直腸結腸切除と回腸肛門吻合の後に生じる回腸嚢炎 ; 胃腸癌 ; 膵臓炎 ; インスリン依存性糖尿病 ; 乳腺炎 ; 胆嚢炎 ; 胆管炎 ; 胆管周囲炎 ; 慢性気管支炎 ; 慢性副鼻腔炎 ; 喘息 ; 原発性硬化性胆管炎 ; 胃腸管におけるヒト免疫不全ウイルス (H I V) 感染症 ; 好酸性喘息 ; 好酸性食道炎 ; 胃炎 ; 大腸炎 ; 顕微鏡的大腸炎 ; 移植片対宿主病 ; 放射線療法もしくは化学療法に伴う大腸炎 ; 白血球粘着不全症 1 型、慢性肉芽腫症、糖尿病 1 b 型、ヘルマンスキー・パドラック症候群、チェディアック・東症候群、ウイスコット・アルドリッチ症候群のような自然免疫障害に伴う大腸炎からなる群から選択される状態または疾患の処置に使用するための、請求項 1 に記載のホモ二量体。

【請求項 7】

前記炎症または自己免疫疾患が、膵臓炎、インスリン依存性糖尿病、乳腺炎、胆嚢炎、胆管炎、胆管周囲炎、慢性気管支炎、慢性副鼻腔炎、喘息または移植片対宿主病である、請求項 4 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 8】

前記炎症が炎症性腸疾患である、請求項 4 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 9】

前記炎症性腸疾患が潰瘍性大腸炎である、請求項 8 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 10】

前記炎症性腸疾患がクロウン病である、請求項 8 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 11】

ウイルスまたはレトロウイルスの局所感染症もしくは全身感染症の治療に使用するための、請求項 1 に記載のホモ二量体。

【請求項 12】

前記ウイルスまたはレトロウイルスがエコーウイルス 1 型および 8 型、エコーウイルス 9 型 / B a r t y 株、ヒトパピローマウイルス、ハンタウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス、口蹄疫ウイルス、コクサッキーウイルス A 9 型、ヒトパレコウイルス 1 型またはヒト免疫不全ウイルス 1 型である、請求項 11 に記載の使用のためのホモ二量体。

【請求項 13】

患者において疾患または状態の処置に使用するための請求項 1 に記載のホモ二量体であ

って、前記疾患または状態が A 型肝炎、B 型肝炎もしくは C 型肝炎、肝性脳症、非アルコール性脂肪性肝炎、硬変症、静脈瘤出血、ヘモクロマトーシス、ウィルソン病、チロシン血症、 α 1 アンチトリプシン欠損症、糖原病、肝細胞癌、肝癌、原発性胆汁性胆管炎、原発性硬化性胆管炎、原発性胆管硬化症、胆道疾患、自己免疫性肝炎、または移植片対宿主病から選択される、ホモ二量体。

【請求項 14】

前記患者がヒトである、請求項 4 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の使用のためのホモ二量体。